

2014年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録1限目》

投稿者：講座協力委員 中島光明

◆開催月日：2014年10月23日(木) 13:30~17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア

《講座のメインテーマ》

防災・減災の考え方と対応策を学び、地域の防災力を高める

◆本日のテーマ◆ **被災地の現実・本質を学び、地域で活かす**

前半：震災被災地で消防士が感じた、減災行動の必要性

講師＝森田 清 氏(横浜市消防局横浜市民防災センター)

後半：災害時に役立つ隣近所の助け合い・見守り、災害時要援護者について学ぶ

講師＝土田 博美 氏(横浜市在住、教育学博士、看護師)

講座運営委員会

田中晃リーダー



～ 講座をはじめるとあたって ～
神奈川大学教授・防災塾だるま塾長
荻本孝久 氏

■持ち帰って地域で活かす防災減災
の知恵を勉強していただきたい！

《横浜市防災計画「震災対策編」の細部計画から》

◆消防活動の基本

- ・災害情報の収集と総合的な判断
- ・消火有効地域を優先
- ・市街地の延焼火災の消火活動を優先

◆人命救助救急活動の原則

- ・救命活動の優先
- ・緊急度及び重症度の優先
- ・幼児、高齢者の優先
- ・火災現場付近の優先
- ・救助救急の効率重視

《まとめ》

- ★横浜は関東大震災で大災害を被った、この轍を踏んではならない。
- ★大地震直後の公助は期待できない。
- ★防災減災の決め手は自助、自助ができれば共助につながる。

講師：森田 清氏



《災害！ その時あなたはどのようにしますか？》

- ① 被災後に起こりやすい心と身体の変化
 - ② 被災者への関わり
 - ③ 子どもへの接し方
- など 9 項目について、支援者としての具体的ななかかわり方

《まとめ》

- ★災害に対する常日頃の備えをしておこう！
- ★その時どうする？ こうしましょう！「突然起こった災害に対応する為に」(NPO 法人 都市防災研究所)

講師：土田 博美氏



スタンドパイプ式初期消火器具



身近な物を使った
包帯法

進行 高松さん

